

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにもきをつけましよう。

① □<sub>そんけい</sub> の □<sub>きもち</sub> を □<sub>ことば</sub> で □<sub>あらわす</sub>。

② □<sub>じごちゆうしんてき</sub> な □<sub>かんがえ</sub> を □<sub>あらためる</sub>。

③ □<sub>おおく</sub> の □<sub>せいぞろ</sub> を □<sub>みつけ</sub> て □<sub>かんげき</sub> も

ひとしおだ。

④ あまりの □<sub>たのしみ</sub> に □<sub>われ</sub> を □<sub>わすれる</sub>。

⑤ □<sub>ひと</sub> を □<sub>うやまう</sub> □<sub>ところ</sub> を □<sub>たいせつ</sub> にする。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① ぎょうちゆう  
を うち  
あける。

② こんなん  
に まけ  
ず、 しごと  
を なし  
と

げる。

③ こま  
よてい  
より かいぎ  
の じかん  
が のび  
て

④ てんのう  
ほうもん  
こうぎょう  
えんき  
りようへいか  
の かいがい  
へのび

が になる。

⑤ きぼう  
を むね  
にがんばらう。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□の□が□に

□  
□  
れる。

② □の□をていねいに□。

③ □の□の□を□。

④ □た□を□する。

⑤ □に□に□に□。

⑥ □の□を□□。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □<sub>せん</sub> たく □<sub>もの</sub> を □<sub>ほし</sub> てから □<sub>つくえ</sub> の □<sub>うえ</sub> を

□<sub>せいめい</sub> する。

② □<sub>げきじょう</sub> の □<sub>うらぐち</sub> を □<sub>けいび</sub> する。

③ □<sub>おんし</sub> のはげましの □<sub>ことば</sub> に □<sub>かんげき</sub> する。

④ □<sub>やまごい</sub> の □<sub>ちいさ</sub> に □<sub>はげしい</sub> □<sub>あめ</sub> が

□<sub>ふる</sub> 。

⑤ □<sub>かんまん</sub> の □<sub>さ</sub> が □<sub>おおきい</sub> 。

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにもきをつけましよう。

① □<sup>こく</sup>への□<sup>たび</sup>は□<sup>きちよう</sup>な□<sup>けいけん</sup>である。

② □<sup>こと</sup>なる□<sup>ぶんか</sup>を□<sup>りかい</sup>するのは□<sup>かんたん</sup>

ではない。

③ □<sup>ほね</sup>が□<sup>おれ</sup>、□<sup>いたみ</sup>で□<sup>こぎゆう</sup>もできない。

④ □<sup>せんせい</sup>から□<sup>しよくいんしつ</sup>に□<sup>よぼ</sup>れる。

⑤ □<sup>てつこつづくり</sup>の□<sup>たてもの</sup>。

⑥ □<sup>きよらか</sup>な□<sup>くうき</sup>を□<sup>むね</sup>いっぱい

□<sup>すじ</sup>。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① すなば  
で  
あな  
をほる。

② ないかくそうりだいじん  
の  
しじ  
に  
したがう

③ さぎん  
を  
みつける

④ にほんこくけんぽう  
に  
かん  
する  
いつきつ  
の  
ほん

を  
よむ

⑤ しゆくん  
と  
けらい  
が  
しゆじゆうかんけい  
を  
むすぶ

|                   |              |    |   |   |   |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六一七<br>(書き) | 第六がく年の漢字(書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|

|                  |
|------------------|
| 取り組んだ日<br>月<br>日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① おやごうごう  
をする。

② きびしい  
げんじつ  
を  
しる。

③ ていしゅつきげん  
を  
げんしゅ  
する。

④ こうよう  
が  
うつくしい  
きせつ  
になる。

⑤ だいがくせい  
になった  
あね  
が  
くちべに  
を  
つかう。

国語  
六一八  
(書き)

第六学年の漢字(書き)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□が  
あちこちにあつて

□だ。

② □の□を  
する。

③ □に□が□。

④ □あぶない□ぼしよ□に□ちか  
づいてはいけない。

⑤ □あに□は□きんにくしつ□で□ひき  
しまつた□たいけい□だ。



次の文の□に当てはまる漢じを書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □<sub>じ</sub>だつ□<sub>じ</sub>に□<sub>ちゆうい</sub>する。

② □<sub>ことば</sub>の□<sub>つかいかた</sub>を□<sub>あやまる</sub>。

③ □<sub>ぎもん</sub>を□<sub>かいけつ</sub>する。

④ □<sub>ともだち</sub>を□<sub>うたがう</sub>ことはしない。

⑤ □<sub>ちようしよく</sub>を□<sub>かんたん</sub>に□<sub>すます</sub>。

|                    |               |   |        |
|--------------------|---------------|---|--------|
| こく語<br>六—十<br>(書き) | 第六学ねんの漢字 (書き) |   | 名前     |
|                    | ねん            | 組 | 番      |
|                    |               |   | 取り組んだ日 |
|                    |               |   | 月      |
|                    |               |   | 日      |

次の文の□にあてはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① [ ] の [ ] を [ ] で

うる。

② [ ] の [ ] を [ ] のぼす。

③ ボールが [ ] 、 [ ] ガラスが

われる。

④ お [ ] を [ ] に [ ] 。

⑤ [ ] を [ ] する。

⑥ [ ] を [ ] に [ ] する。

|                   |              |     |   |   |   |
|-------------------|--------------|-----|---|---|---|
| 国語<br>六十一<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名まえ | 年 | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|-----|---|---|---|

|                  |
|------------------|
| 取り組んだ日<br>月<br>日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① どんよりとした□の□にも□が

□  
□  
□  
□  
□  
□

② □では□が□。

□  
□  
□  
□  
□  
□

③ □な□を□する。

□  
□  
□  
□  
□  
□

④ □を□するシステムを□する。

□  
□  
□  
□  
□  
□

⑤ □に□を□。

□  
□  
□  
□  
□  
□

⑥ □  
□  
□  
□

□  
□  
□  
□



|                   |              |    |   |   |   |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六十三<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|

|        |   |    |
|--------|---|----|
| 取り組んだひ | 月 | にち |
|--------|---|----|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □<sub>かいぎ</sub>を□<sub>かいし</sub>する□<sub>じいぐ</sub>になつた。

② トラックから□<sub>にものつ</sub>を□<sub>おろす</sub>。

③ あの□<sub>ひ</sub>のできごとを□<sub>こころ</sub>に□<sub>かゝる</sub>。

④ □<sub>いまひ</sub>ている□<sub>ひょうご</sub>を□<sub>かゝら</sub>する。

⑤ にぎやかな□<sub>しよぐ</sub>が□<sub>す</sub>。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □から□が□に  
しよがいこく かんこうきやく おんせんち

やってくる。

② □の□みかんがすっかり□した。  
こうてい なつ じゆく

③ □が□がわき□。  
つめたい みず てる いずみ

④ □が□で□された。  
ほうあん しゅうぎいん かけつ

⑤ □この□は□と□。  
おりもの あらう ちぢむ

⑥ □を□、□を□  
こうりつか すすめ ちぢようじかん

□する。

たんしゆく

|                        |              |     |   |   |   |
|------------------------|--------------|-----|---|---|---|
| 国語<br>六十一<br>五<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名まえ | 年 | 組 | 番 |
|------------------------|--------------|-----|---|---|---|

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 取り組んだ日 | 月 | 日 |
|--------|---|---|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① ユネスコの  が  を  。

②  では、 のまゆを  かくする。

③  として  を  たのち、  
かんとくに  した。

④  な  が  される。

⑤   を  がける。

|                    |              |    |   |   |   |
|--------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六十一六<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|--------------------|--------------|----|---|---|---|

|                  |
|------------------|
| 取り組んだ日<br>月<br>日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□を□。

② □に□がけが□から

③ □なとうが□て□が

④ □を□した。

⑤ □の□ミスを□。

⑥ □にあつたが、□にも□で

□だ。



|                    |              |    |   |   |   |
|--------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六一七七<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|--------------------|--------------|----|---|---|---|

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 取り組んだ日 | 月 | 日 |
|--------|---|---|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

①  あんぜんそうち が  ないぞう された  きかい を

かいほつ する。

② もう  わすれもの はしなないと  せんげん した。

③  ゆうじん の  せいじつ な  たいど に  こころ が  あらわ

れた。

④  せん たく  き が  こしやう した。

⑤  ゆうじん の  いけん を  しりぞける 。

⑥  ふくつう で  そうたい する。

こく語  
六十八  
(書き)

第六学年の漢字 (書き)

名前  
年 組 番

取り組んだ日  
月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① やちん を おさめる ため おおや の いえ を

たずねる

② ぬの を どの いろ で そめる か けんとう する。

③ ものいじり の けいとうせい について かんがえる。

④ どうぶつこく を ほうもん する。

⑤ こくみん には のうぜい の ぎむ がある。

|                   |              |    |   |   |   |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六十九<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-------------------|--------------|----|---|---|---|

|                  |
|------------------|
| 取り組んだ日<br>月<br>日 |
|------------------|

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

- ①
- |                      |       |
|----------------------|-------|
| <input type="text"/> | あたらしい |
| <input type="text"/> | ぶんか   |
| を                    | つくる   |
| <input type="text"/> | のは    |
| <input type="text"/> | わかもの  |
| た                    |       |

ちだ。

- ②
- |     |                      |        |
|-----|----------------------|--------|
| かれは | <input type="text"/> | どくそうてき |
| な   | <input type="text"/> | えんそう   |
| を   | する。                  |        |

- ③
- |                      |                      |    |
|----------------------|----------------------|----|
| <input type="text"/> | ながい                  |    |
| <input type="text"/> | かいだん                 |    |
| を                    | ふたん                  |    |
| に                    | <input type="text"/> | かん |
| じる。                  |                      |    |

- ④
- |                      |                      |     |
|----------------------|----------------------|-----|
| <input type="text"/> | たいかい                 |     |
| への                   | <input type="text"/> | さんか |
| が                    | <input type="text"/> | みとめ |
| られる。                 |                      |     |

- ⑤
- |    |                      |      |
|----|----------------------|------|
| あの | <input type="text"/> | はいゆう |
| は  | <input type="text"/> | えんぎ  |
| が  | <input type="text"/> | じょうず |
| だ。 |                      |      |

こく語  
六一二十  
(書き)

第六学年の漢字 (書き)

名前  
年 組 番

取り組んだ日  
月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□は□だ。

② □には□の□がある。

③ □の□は□にしておこう。

④ □で□の□が□

に□する。

⑤ □にある□の□を

□。

⑥ □は□です。

|                     |              |    |   |   |   |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六一二十一<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

|        |   |    |
|--------|---|----|
| 取り組んだひ | 月 | にち |
|--------|---|----|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① じゅうらい かの かいぜん  
の やり □ を □ することは  
むずかしい。

② こんなん もんだい かいけつ むけ  
な □ だが □ に □ て  
どりよく しよう。

③ ちそう きょうみ  
□ に □ がある。

④ たんじょうび はな とどく てはい  
□ に □ ように □ した。

⑤ はいく せうし かう  
□ の □ を □ 。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□は□に□に

はったつ  
する。

② □おきない □ことども たちを□に して □を

おこなう  
。

③ □ほうりつ の □を する。

④ □まいあざ、 □うし の □ちち を し ぼる。

⑤ コーヒーに □と □を □。

|                     |              |    |   |   |   |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六一二十三<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

|        |   |    |
|--------|---|----|
| 取り組んだひ | 月 | にち |
|--------|---|----|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □<sup>ともだち</sup> と □<sup>せなか</sup> を □<sup>あわせ</sup> て □<sup>せいぐらへ</sup>

をする。

② □<sup>なみき</sup> すぎの □<sup>はいご</sup> に □<sup>さんちよう</sup> が □<sup>みえる</sup>

③ □<sup>やま</sup> の □<sup>いただき</sup> から □<sup>ひので</sup> を □<sup>おがむ</sup>

④ □<sup>すいりしようせつ</sup> の □<sup>ほん</sup> を □<sup>いただく</sup>。

⑤ □<sup>じたく</sup> は □<sup>ゆうびんきよく</sup> の □<sup>ならび</sup> に □<sup>ある</sup>。

⑥ □<sup>ちち</sup> の □<sup>ひやつかじてん</sup> を □<sup>はいしゃく</sup> する。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにもきをつけましよう。

① 江戸の□の□は徳川家康だ。

② □が□を□。

③ □を□ため、□した。

④ □を□。

⑤ □を□ため、□を□。

する。

⑥ □の□をながめる。



次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① ごみ□に、ごみを□。

② □を□して□する。

③ □は□□□□□を□

□だ。

④ □を□している。

⑤ かれの□は□□□□□になること

だ。

⑥ □で□□□□□がらを□。

|                     |              |    |   |   |   |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六一二十六<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

|                  |
|------------------|
| 取り組んだ日<br>月<br>日 |
|------------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① あさばん、かわぞいのを。

② へいわのたいせつさをつうかんした。

③ やまのちようじようでおべんとうをたべる。

④ いちまいのかいが、せんぞののこした。

かほう  
だ。

⑤ ひこうきのいもけいのもうとのたからものだ。

|                     |              |    |   |   |   |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六一二十七<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

|        |   |    |
|--------|---|----|
| 取り組んだひ | 月 | にち |
|--------|---|----|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① ひはん のべる を しょうち で こんご の ほうしん を

。 ○

② ちゅうしゃ の はり を みる のが ながて だ。

③ ひ が くれ たので しょうめい をつける。

④ あに は さいきん 、 ひとりぐらし を はじめ た。

⑤ まと に むけ て や を いる 。

⑥ ていあん に たい して ひていてき な いけん が

でる ○

|                     |              |    |   |   |   |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六―二十八<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

|               |
|---------------|
| 取り組んだ日<br>月 日 |
|---------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □と□の□から□を

たて よこ ながさ めんせき

□。

もどめる

② その□の□を□して

さつか ちよさく たすう ほぞん

いる。

③ □の□に□の□が□

がが こてん おおく ひと らいほう

した。

④ いつか□を□してみたい。

ひこうき そうじゆう

⑤ □の□をかけた□を□

かいしや そんぼう しょうひん かいはつ

する。

⑥ ほ□のイルカは□で□する。

にゅうるい はい いくちゆう



|                    |              |    |   |   |   |
|--------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六一三十<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|--------------------|--------------|----|---|---|---|

|        |    |   |
|--------|----|---|
| 取り組んだ日 | がつ | 日 |
|--------|----|---|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① げつめんとんさきの の うち あげ を けいかく

する。

② かたほう の まじ を しめる

③ すいぶん の じょうはつ を ふせぐ ため、ふたを とじる

④ ジャムを ほぞん する みつぺいようき を さがす

⑤ ねだん は たかい が、 それに みあう のある しょうひん だ。 かし

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにもきをつけましよう。

① りんじれつしゃ の じょうしゃけん を かう。

② おんだん な きこう の とうち で くらす。

③ あたたかい ので うわぎ は ひつよう ない。

④ あつい きせつ は しょうよく が なく なる。

⑤ ちぎ の しゅくしゃく を しらべる。

|                     |              |    |   |   |   |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六一三十二<br>(書き) | 第六学年の漢字 (書き) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

|               |
|---------------|
| 取り組んだ日<br>月 日 |
|---------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □<sub>どうろ</sub>の□<sub>かくちようこうじ</sub>を□<sub>しき</sub>する。

② □<sub>せんとう</sub>の□<sub>かんばん</sub>を□<sub>あたらしく</sub>する。

③ □<sub>つうやく</sub>の□<sub>しん</sub>に□<sub>てんしやく</sub>しようと□<sub>はら</sub>を□<sub>きめる</sub>。

④ □<sub>てんらんかい</sub>が□<sub>ちゆうし</sub>になつた□<sub>わけ</sub>を□<sub>せつめい</sub>する。

⑤ ラーメンの□<sub>おおもり</sub>を□<sub>たべ</sub>て□<sub>まんがく</sub>になつた。



|                     |              |    |   |   |    |
|---------------------|--------------|----|---|---|----|
| 国語<br>六―三十三<br>(書き) | 第六がく年の漢字(書き) | 名前 | 年 | 組 | ばん |
| 取り組んだ日<br>月 日       |              |    |   |   |    |

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① □ながら、□な□に□を

□。

② □の□が□。

③ かれの□は□に□だ。

④ うず□が□□□□□の□は

□の□だそうだ。

⑤ □の□をするために

□に□。

|                     |              |    |   |   |   |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|
| 国語<br>六―三十四<br>(かき) | 第六学年の漢字 (かき) | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|---------------------|--------------|----|---|---|---|

|               |
|---------------|
| 取り組んだ日<br>月 日 |
|---------------|

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。  
送りがなにもきをつけましょう。

① □ が □ の □ の □ を □

する。

② オリンピックの □ リレーが □

③ □ すいな □ を □ ない。

④ 「□ は □」 という □ がある。

⑤ □ が □ を □ とかつぐ。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。  
送りがなにも気をつけましよう。

① おおく の の を から する。

② ふじゆんぶつ を とり のぞく。

③ かしん を したがえ て かける。

④ じんたい に ゆうがい な を する。

⑤ ぬの を さいだん して しょうぶく を つくる。

⑥ びんごりつ で せふへ 。